



ステージ目標「団結」から「充実」へ

大仁中学校では、「ステージ制」を用いています。年間を時期に応じて5ステージ(期間)に分け、どういかに力点を置いて教育活動を進めていくのか、教職員組織や生徒会活動のスマールステップの指針にしているものです。具体的には次のとおりです。

- 「仲間」……4・5月期 新しい出会いを好機ととらえ、新年度への展望をもつ
- 「挑戦」……6・7月期 学習や部活動などに、目標をもって取り組む
- 「団結」……8・9・10月期 他者との協働性を育み、力を合わせて取り組む経験を積む
- 「**充実**」……11・12月期 **これまでの学習・活動の成果を表現する**
- 「感謝」……1・2・3月期 1年の成果と課題を自覚し、次年度に向けての意識を高める

3年生はいよいよ進路実現に向かい、1・2年生が生徒会組織を発展させていく「充実」期に入ります。4月からの積み上げの成果が問われる時期です。

私たち教員としては、授業づくりを中心に行ってきた研修の成果を発揮する時期と言えます。「主体的・対話的で深い学び」……思考力・判断力・表現力を生徒が駆使して「自ら問い考え表現する」授業をどれだけ展開し学力を育てているか、ということです。

授業観の転換が求められています。それは「(教師が)教える授業」から「(生徒が)自ら学ぶ授業」への意識改革を意味します。教師は「教える」ことを放棄してはいけません。基礎的知識や技能を、生徒が追究する過程でしっかりと身につけさせること、そして生徒が自らそれらを結びつけて課題解決のために駆動させること、これが「自ら学ぶ授業」の姿です。学びの結果ではなくプロセスが重視されます。

このような質の高い授業を準備することは難しいことですが、この單元ではぜひこういう授業をデザインしてやっいていこう、と教員が提案し、お互いに授業を見せ合い検証しています。

秋の深まりと共に、学校生活も落ち着きを取り戻しました。生徒が安心して学習に向き合えるよう、引き続き力を合わせて授業の質の向上に努めていきます。

申し遅れましたが、かしわ祭文化の部・体育の部へのご参集、ありがとうございました。(文責:校長)

追記:10月13日に、驚きのニュースが飛び込んできました。本校3年生の女子生徒:渡邊莉緒さんが出場した国民スポーツ大会(SAGA2024)の陸上競技・女子共通4×100mリレーにおいて、大会新記録で優勝したという吉報です。翌日の静岡新聞に大きく掲載され、多くの県民の知るところとなりました。先輩達のカ走に混じってすばらしい成果を上げられました。10月15日、学校はかしわ祭体育の部が終了して落ち着きを取り戻しました。凱旋(がいせん)のような形となった彼女の再登校も、いつもの仲間と変わりなく穏やかな様子でした。学校では昇降口の中にささやかな紙製の横断幕を掲げました。指導支援に携わった地域クラブの指導者やご家族のサポートはいかばかりだったか、を想像すると、敬服の念を禁じえません。その都度、「大仁中3年」の肩書きが付けられていることをこそばゆく感じている次第です。彼女の「夢を拓く」のこれからが楽しみです。



市長、教育長と表敬訪問にて

★文化の部★

各クラス、心を合わせた素晴らしい合唱でした。1年2組、2年2組、3年1組が金賞となりました。合唱を通じて感じた充実感、喜び、くやしきなど、ここで感じた多くの気持ちが、これからの学級の大きなちからになります。



★3年学年種目★

「走れ!!!ムカデミーム!!!」さすが3年生、タイムを計る人、伴走する人、みんなで作戦を練りながら、日に日にタイムが上がり、素晴らしい走りを見せてくれました。



★全級リレー★

自分の力を最大限発揮する姿に、みんなが惜しめない声援を送りました。中学生が全力で走る姿は圧巻でした。



かしわ祭
文化の部・体育の部
9.27(金)・10.11(金)
幕を開じる

★2年学年種目★

「君の縄108~すずめの跳びまわり~」3グループ交代制で、合計回数で競いました。各クラスごとに作戦を練り勝負しました。



★係の仕事も頑張りました★

開催を1日延期しましたが、今年のかしわ祭が成功したのは、前日準備の係や当日の係活動、生徒会役員の活躍のおかげです。



★色別スローガン★

緑(3-1,2-3,1-1)

縫草のように、負けず嫌いで、全力で!!

黄(3-2,2-2,1-2,1-3)【優勝】

ほう ほう ほう ほう
蜂! 蜂! 蜂! 蜂!

青(3-3,2-1,1-4)

青天白日

★1年学年種目★

「台風の子~今から駆けるよ~」コーンを回るだけではなく、パイプをみんなの足下に、いかに早く通すかが勝負を分けました。



★志龍塾講演会★

文化の部午後は、伊豆の国市出身ケッチさんによる講演会がありました。「非言語的コミュニケーション」をテーマに笑いあふれるパフォーマンスでした。



★全校表現★

今年初めての取組、自分たちの体を叩いてリズムを刻み、息を合わせた一体感あふれるボテイスラップと校歌は、伝統の始まりです。

